

資料・統計

2010年入院がん患者統計

Statistics of Cancer Inpatients in 2010

新潟県立がんセンター新潟病院
情報調査部 病歴室

昨年度から「入院がん患者統計」と表題を変更し、表形式の数値だけでなくグラフによる時系列データも提示している。今年度も同様の形式で記載した。

2010年の入院がん患者の基礎資料

(表1, 図1)

2010年に新規がん登録された患者実数は2,635人、疾患数(延数)は2,736人であり、わずかではあるが2009年(実数2,632, 延数2,724)に比べて増加した。当院のがん登録数は2001年以降、年に数百人ずつのペースで右肩上がりの増加を続けていたが、2007年をピークにその後はやや減少～横ばいの傾向にある。

部位別がん登録数の推移(表2, 図2)

部位別にみた新規がん登録数の上位5がんの順位は前年と変わらず、①肺がん(429, 前年比+9)、②胃がん(366, 前年比-20)、③乳がん(333, 前年比+22)、④前立腺がん(212, 前年比+18)、⑤結腸がん(154, 前年比-2)の順であった。これら上位5がんの1993年以降の年次推移を図2に示す。胃がん、結腸がんは最近数年は減少傾向にある。

全入院患者に占めるがん患者数

(表3, 表4, 図3, 表5)

2010年に入院診療を行ったがん患者実数は4,001人(前年比-93)と減少し、延数も9,184人(前年比-702)と大幅に減少した。これはDPCでの一部高額薬剤の包括化に伴って、化学療法入院が減少したためと思われる。

総入院患者数に占めるがん患者数の割合は、実数ベースで67.1%、延数ベースで82.1%と若干低下傾向であった。図3に過去22年間の推移を示す。入院患者実数での増加に比べて延数の増加が著しいのは、短期入院による化学療法の導入を反映している。1989年には総入院に占めるがん患者の割合は実数ベースで39.1%と低く、延数でみても46.9%と半分以下であった。表5にみるように診療科によってかなりの温度差はあるものの、当院全体としてはがん診療への特化傾向が強くなっていることが分かる。

病類別在院日数(表6)

がん(新生物)患者の平均在院日数は13.8日と、ほぼ前年同様であった。当院は全国のがんセンター群の中でも平均在院日数が非常に短いのが特徴である。

予後調査結果(図4)

2009年までの49年間に登録された59,100名のがん患者の内、登録後20年未満の患者は38,296名であった。その内すでに病歴室もしくは新潟県がん登録で死亡が確認されている患者を除き、1年以上来院歴がない4,762名に対して郵送による直接照会を行った。回答数は3,281通(68.9%)で、未回答981名については法務局の許可を得て本籍地の市町村へ戸籍照会をかけたが、12例の消息が不明であった。予後判明率は $38,284/38,296=99.97\%$ であった。生存率データについては当院ホームページで公開している(<http://www.niigata-cc.jp/contents/disease/sippeitoukei.html>)。(文責 竹之内辰也)

表1 2010年入(退)院がん患者統計

2010年の入院がん患者の基礎資料

1. 2010年新規がん登録患者数 (実数).....	2,635
2. 2010年のがん登録疾患数 (延数).....	2,736
内訳：本年初登録で単疾患	2,273例, 2,273疾患
本年初登録で複数疾患	87例, 178疾患
既登録で本年初発疾患	275例, 285疾患
3. 2010年の入院がん患者実数.....	4,001
(前年までの登録患者も含む)	
4. 2010年の入院がん患者延数.....	9,184
(前年までの登録患者も含む)	
5. 2010年の総入院患者実数.....	5,537
6. 2010年の総入院患者延数.....	11,186

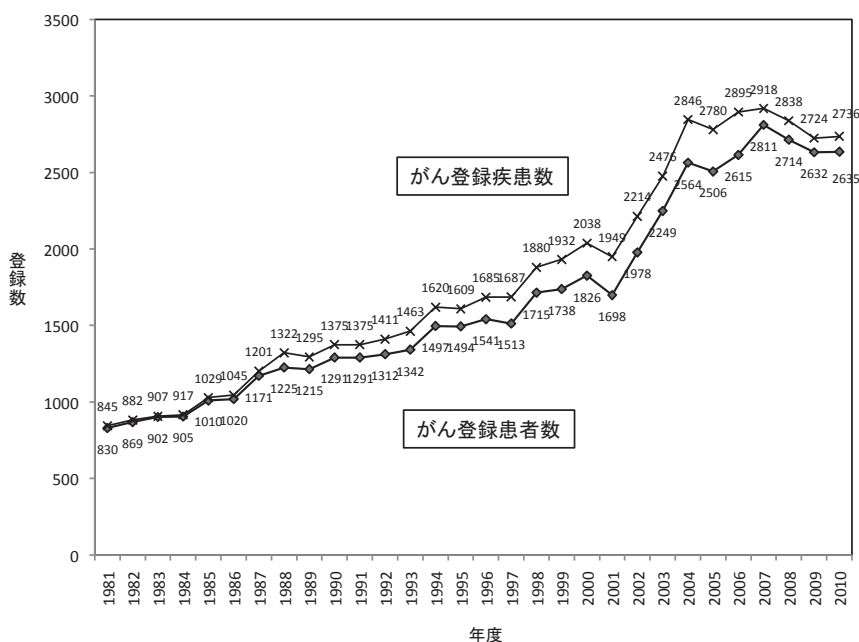


図1 院内がん登録数の年次推移

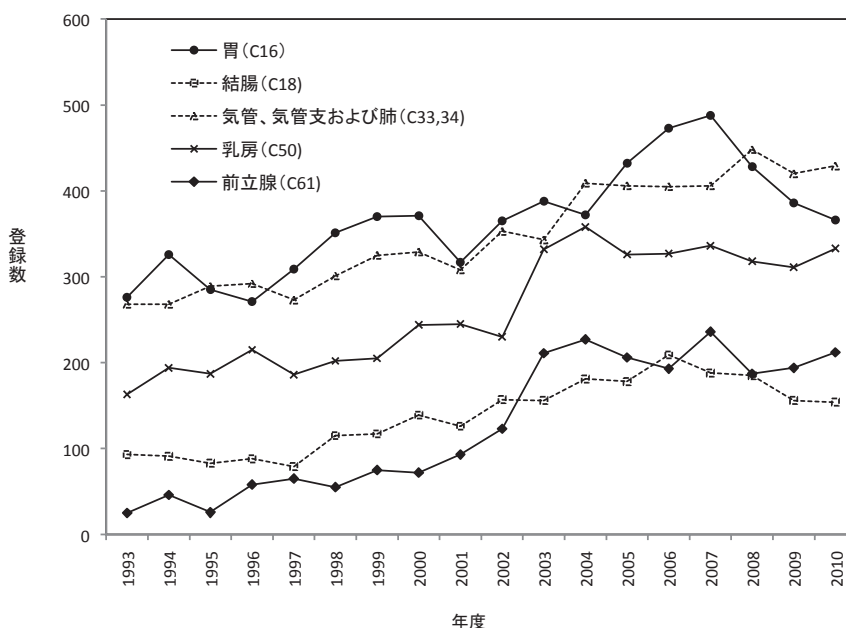


図2 がん登録数の年次推移 (上位5がん)

表2 部位別がん登録数の推移 (実数)

部位等 (ICD10)	2008年					2009年					2010年				
	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規がん登録数	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規がん登録数	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規がん登録数
口唇、口腔および咽頭の悪性新生物 (C00～C14)	63	45	18	94	55	62	46	16	104	37	74	53	21	141	45
食道の悪性新生物 (C15)	188	161	27	452	120	187	161	26	454	129	183	156	27	426	129
胃の悪性新生物 (C16)	526	354	172	803	428	470	322	148	803	386	431	300	131	897	366
小腸の悪性新生物 (C17)	8	6	2	13	7	12	7	5	18	4	7	3	4	9	7
結腸の悪性新生物 (C18)	240	138	102	478	185	228	126	102	362	156	196	92	104	333	154
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門の悪性新生物 (C19～C21)	131	88	43	273	98	143	102	41	243	103	151	107	44	242	106
肝および肝内胆管の悪性新生物 (C22)	91	64	27	177	63	73	52	21	154	39	62	47	15	139	35
胆嚢および肝外胆管の悪性新生物 (C23,C24)	51	35	16	95	42	52	36	16	105	34	49	27	22	127	36
膵の悪性新生物 (C25)	75	44	31	129	53	86	51	35	161	61	97	55	42	163	71
その他消化器および腹膜の悪性新生物 (C26,C48,C45.1)	9	4	5	13	3	7	3	4	31	2	10	4	6	27	7
喉頭の悪性新生物 (C32)	40	37	3	51	25	45	42	3	75	27	41	40	1	63	20
気管、気管支および肺の悪性新生物 (C33,C34)	654	445	209	1,303	448	673	475	198	1,426	420	650	440	210	1,406	429
その他呼吸系および胸腔内臓器の悪性新生物 (C30,C31,C37～C39,C45.0,C45.2)	26	15	11	51	17	24	14	10	55	13	20	12	8	47	9
骨および関節軟骨の悪性新生物 (C40,C41)	8	6	2	11	6	16	13	3	49	10	12	9	3	41	3
皮膚の悪性新生物 (C43,C44,C46)	82	35	47	88	73	81	40	41	102	70	77	45	32	109	63
乳房の悪性新生物 (C50)	513	0	513	2,182	318	511	1	510	2,443	311	519	3	516	1,890	333
結合組織およびその他の軟部組織の悪性新生物 (C47,C49)	36	19	17	64	21	34	18	16	90	19	38	22	16	99	21
子宮頸の悪性新生物 (C53)	97	0	97	244	57	91		91	226	62	81	0	81	205	53
その他子宮の悪性新生物 (C54,C55)	72	0	72	195	49	77		77	263	50	76	0	76	283	50
その他女性生殖器の悪性新生物 (C51,C52,C56～C58)	115	0	115	461	64	109		109	387	53	116	0	116	437	67
前立腺の悪性新生物 (C61)	238	238	0	332	187	243	243		442	194	264	264	0	328	212
膀胱の悪性新生物 (C67)	190	149	41	302	96	201	147	54	322	104	227	176	51	382	122
腎および腎盂の悪性新生物 (C64,C65)	105	76	29	173	69	99	69	30	163	63	100	77	23	158	78
その他の泌尿生殖器の悪性新生物 (C60,C62,C63,C66,C68)	43	35	8	71	24	55	46	9	94	45	53	47	6	105	37
脳の悪性新生物 (C71)	5	1	4	6	5	6	4	2	8	5	10	6	4	13	4
その他および部位不明の悪性新生物 (C69,C70,C72～C80)	118	54	64	226	81	110	34	76	224	64	120	52	68	203	76
再掲 [甲状腺 (C73)]	78	29	49	95	52	76	18	58	88	50	82	27	55	102	47
白血病 (C91～C95)	103	67	36	317	52	99	69	30	282	56	81	52	29	252	31
その他のリンパ組織および造血組織の悪性新生物 (C81～C85,C88,C90,C96)	198	106	92	709	105	203	124	79	700	113	158	79	79	559	76
上皮内癌 (D00～D09)	90	3	87	92	87	97	5	92	100	94	98	9	89	100	96
計	4,115	2,225	1,890	9,405	2,838	4,094	2,250	1,844	9,886	2,724	4,001	2,177	1,824	9,184	2,736

※入院患者実数、入院患者延数：前年までに登録された患者も含む

表3 入院がん患者実数の年次推移 (実数および割合)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
入院がん患者実数	3,923	3,918	4,081	4,176	4,115	4,094	4,001
%	66.3	66.5	68.3	68.5	69.2	69.2	67.1
疾患別患者実数	5,917	5,894	5,975	6,098	5,948	5,914	5,963

表4 入院がん患者延数の年次推移 (延数および割合)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
入院がん患者延数	9,445	9,124	9,417	9,506	9,405	9,886	9,184
%	81.6	81.3	82.5	82.6	83.1	83.9	82.1
疾患別患者延数	11,581	11,217	11,413	11,515	11,314	11,787	11,186

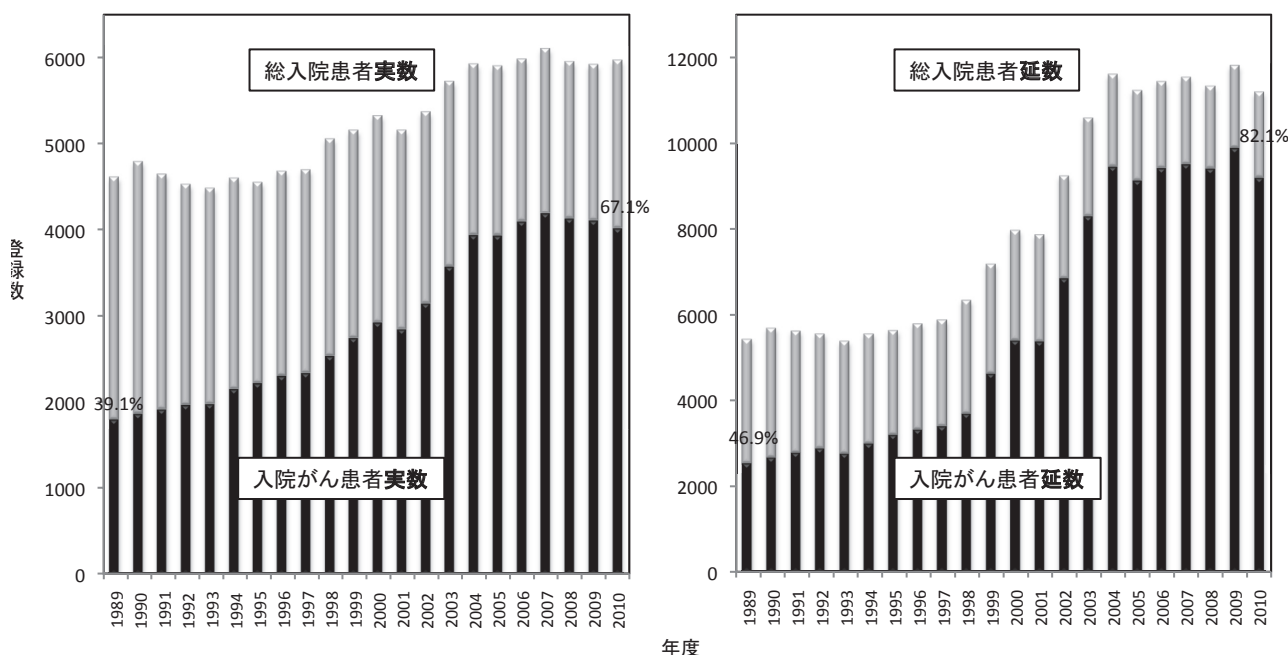


図3 入院患者に占めるがん患者数の年次推移

表5 診療科別がん患者割合 (延べ数, 重複あり, 死亡・剖検は実数)

診療科	がん患者数 (%)	入院患者数	死亡数		剖検数	
			がん	総数	がん	総数
内科	2,275 (80.8)	2,815	213	236	9	11
神経内科	0 (0.0)	27	0	2		
小児科	232 (87.9)	264	5	5	1	1
耳鼻咽喉科	263 (84.6)	311	15	15		
外科	3,380 (92.7)	3,647	93	97		
呼吸器外科	411 (89.2)	461	14	16	1	1
整形外科	126 (37.6)	335	4	5		
心臓血管外科	0 (-)	0	0	0		
脳神経外科	142 (75.9)	187	15	21		
麻酔科	0 (-)	0	0	0		
眼科	0 (0.0)	83	0	0		
皮膚科	137 (77.0)	178	3	3		
泌尿器科	910 (75.3)	1,208	29	29		
婦人科	1,012 (74.4)	1,360	16	16		
放射線科	296 (95.5)	310	1	1		
合計	9,184	11,186	408	446	11	13

表6 2010年病類別（大分類）在院日数別患者数

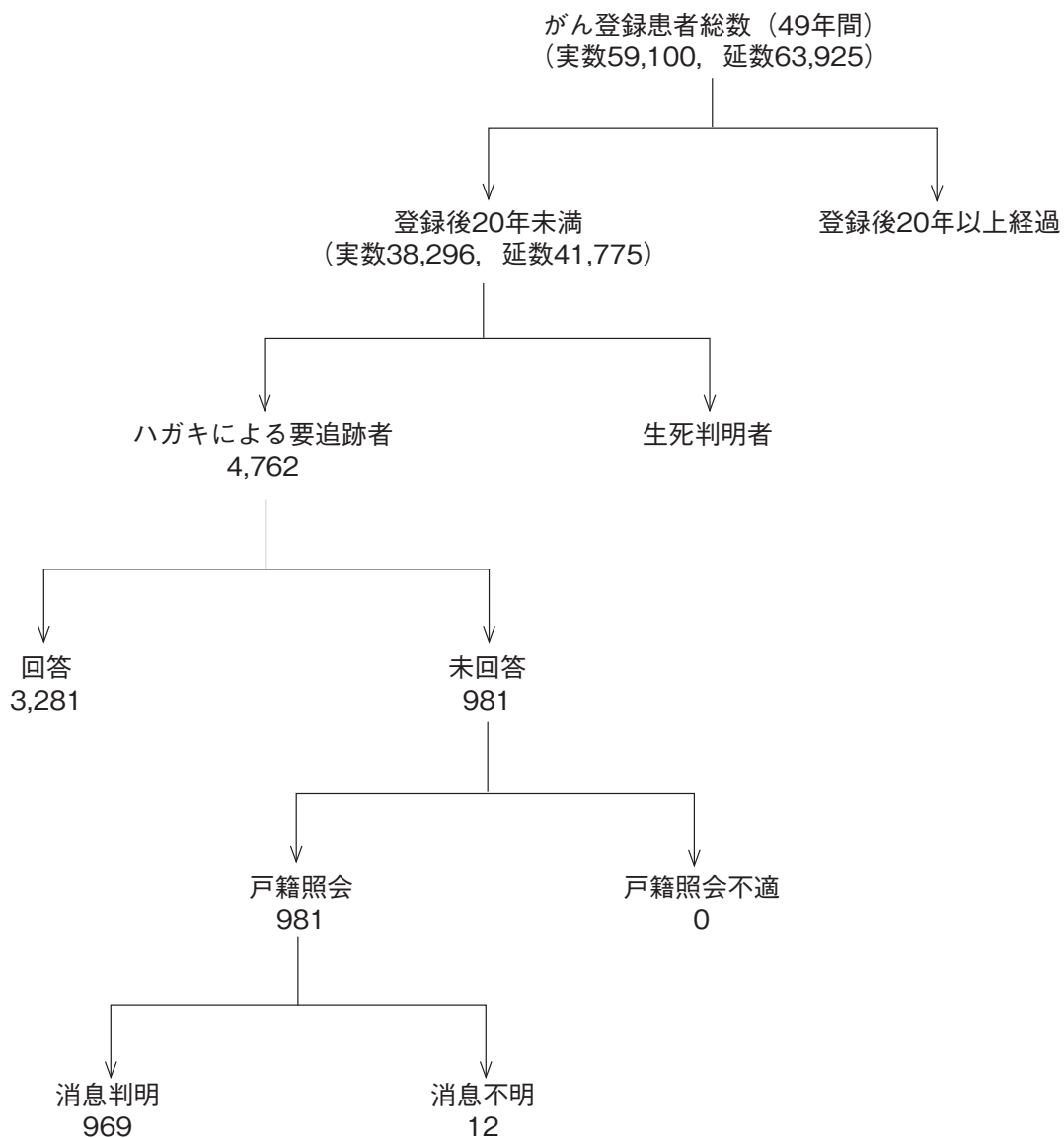
疾病大分類	在院日数	計	1～7日	～14日	～30日	～90日	～180日	～181日 以上	平均在院 日数
合計		11,186	5,134	2,824	2,207	928	85	8	13.4 (149,866)
I 感染症および寄生虫症		41	10	16	13	1	1	0	13.9 (569)
II 新生物		9,565	4,224	2,467	1,960	825	81	8	13.8 (132,190)
III 血液および造血管の疾患ならびに 免疫機構の障害		33	14	7	6	5	1	0	15.6 (515)
IV 内分泌、栄養および代謝疾患		31	8	14	6	3	0	0	14.9 (461)
V 精神および行動の障害		1	1	0	0	0	0	0	6.0 (6)
VI 神経系の疾患		23	12	3	5	3	0	0	14.3 (329)
VII 眼および付属器の疾患		82	71	11	0	0	0	0	5.5 (455)
VIII 耳および乳様突起の疾患		4	2	2	0	0	0	0	6.5 (26)
IX 循環器系の疾患		206	139	23	33	11	0	0	9.7 (1,997)
X 呼吸器系の疾患		167	55	60	38	13	1	0	14.9 (2,494)
XI 消化器系の疾患		299	107	107	69	15	1	0	13.0 (3,883)
XII 皮膚および皮下組織の疾患		51	24	15	10	2	0	0	11.5 (589)
XIII 筋骨格系および結合組織の疾患		77	8	17	25	27	0	0	26.7 (2,055)
XIV 尿路性器系の疾患		464	384	59	17	4	0	0	5.0 (2,309)
XV 妊娠、分娩および産じょく<褥>		1	1	0	0	0	0	0	5.0 (5)
XVI 周産期に発生した病態		0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)
XVII 先天奇形、変形および染色体異常		3	1	1	1	0	0	0	13.7 (41)
XVIII 症状、徴候および異常臨床所見・異 常検査所見で他に分類されないもの		43	27	11	3	2	0	0	8.7 (376)
XIX 損傷、中毒およびその他の外因の 影響		75	26	11	21	17	0	0	19.6 (1,473)
XX 傷病および死亡の外因		1	1	0	0	0	0	0	0.0 (4)
XVI 健康状態に影響をおよぼす要因お よび保健サービスの利用		19	19	0	0	0	0	0	4.7 (89)
XVII 特殊目的用コード		0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)

() 延日数

良性平均在院日数11.1 (総日数22,171)

悪性平均在院日数13.9 (総日数127,695)

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{退院患者の入院延日数}}{\text{退院患者延数}}$$



予後判明率：38,284/38,296=99.97%
 予後調査対象：2009年までの20年間に登録され、最近1年間の受診歴がない患者

図4 2011年の予後調査結果